

令和7年度 高校教育に関するアンケート（教職員）集計結果

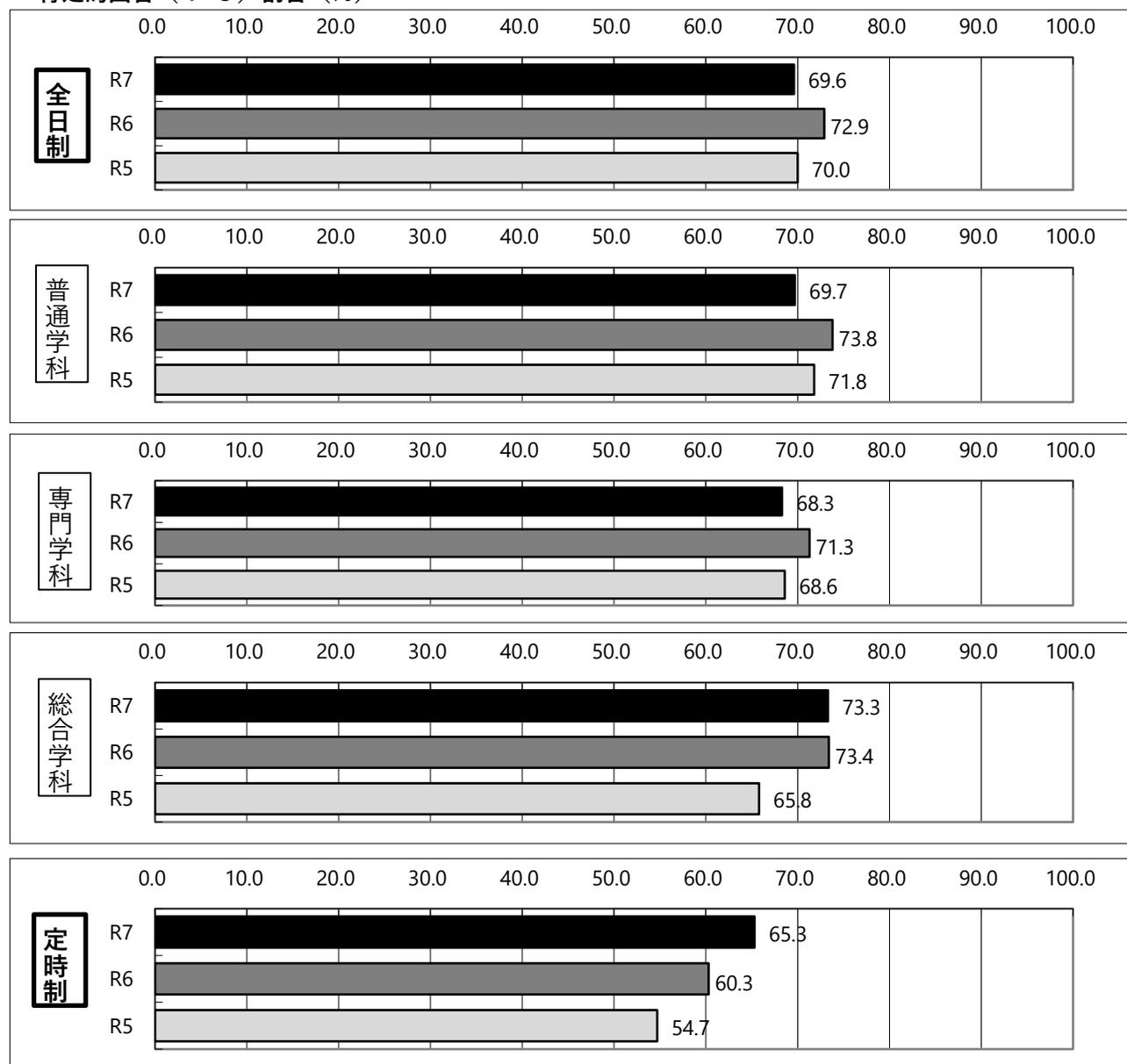
※「理数学科」は普通学科の集計を含む

1 日頃の教育活動における意識

(1) 生徒にボランティア活動の大切さを伝えている

課程・学科種別 (%)		4 当てはまる	3	2	1 当てはまらない	有効 回答数	平均値
R 7 年 度	全日制	18.4	51.2	26.0	4.4	814	2.84
	(普通学科)	16.8	52.9	25.3	5.0	399	2.82
	(専門学科)	20.6	47.7	28.9	2.8	325	2.86
	(総合学科)	17.8	55.5	18.9	7.8	90	2.83
	定時制	11.6	53.7	30.4	4.3	69	2.73

<肯定的回答（4・3）割合（%）>



○全日制のすべての学科において、R5～6は肯定的な回答の割合は増加していたが、R7は、普通学科と専門学科で減少し、総合学科ではほぼ変化していない。

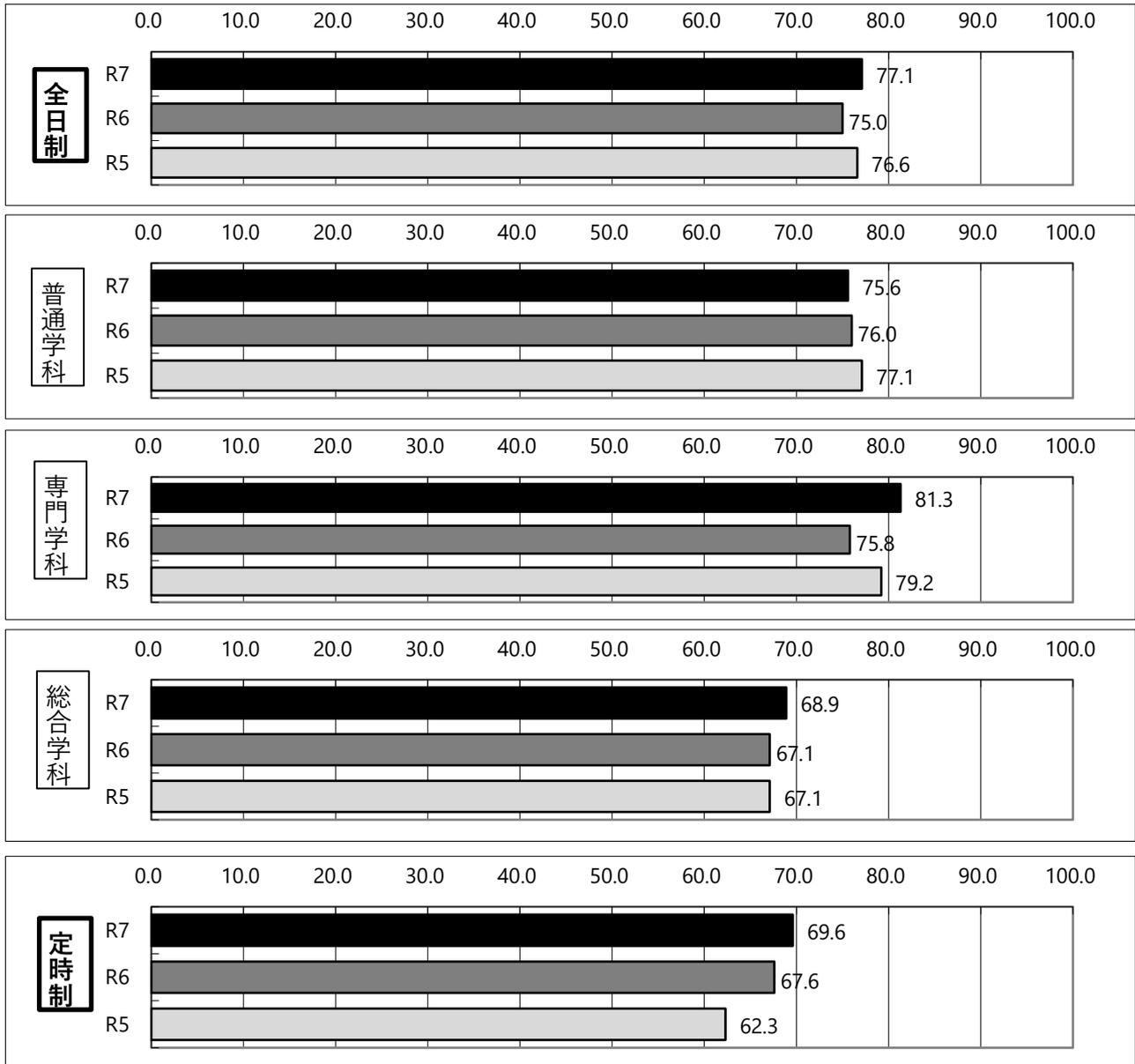
○定時制においては、この2年は増加している（R5との比較で10.6ポイント増）。

1 日頃の教育活動における意識

(2) 生徒に読書の大切さを伝えている

課程・学科種別 (%)		4 当てはまる	3	2	1 当てはまらない	有効 回答数	平均値
R 7 年 度	全日制	25.4	51.7	20.9	2.0	814	3.01
	(普通学科)	23.8	51.8	22.1	2.3	399	2.97
	(専門学科)	28.9	52.4	17.5	1.2	325	3.09
	(総合学科)	20.0	48.9	27.8	3.3	90	2.86
	定時制	15.9	53.7	29.0	1.4	69	2.84

< 肯定的回答 (4・3) 割合 (%) >



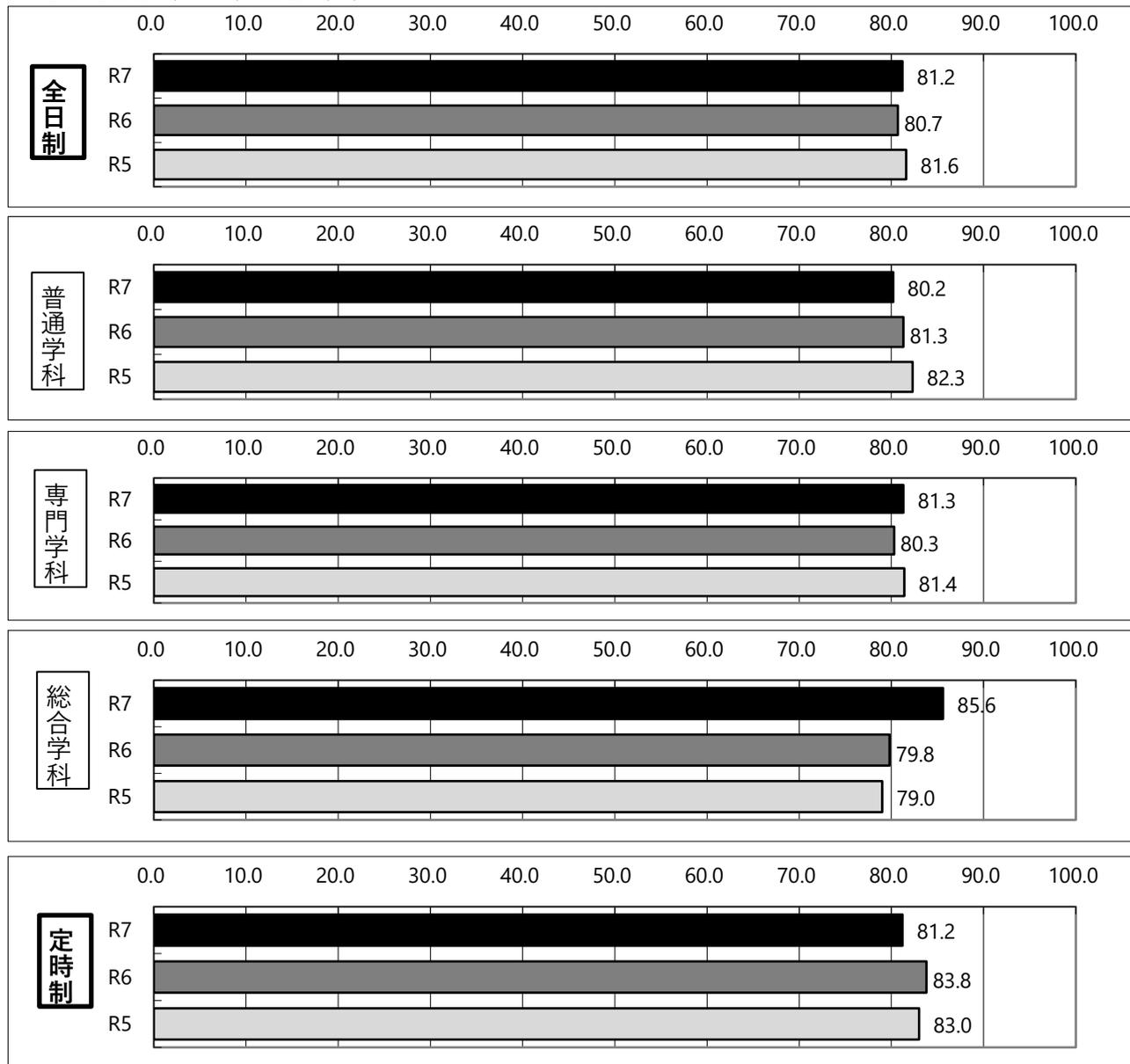
- 普通学科において、この3年は、肯定的な回答の割合はほぼ変化がなく、R7もその傾向が続いている。
- 専門学科において、R7は肯定的な回答の割合が増加している。
- 総合学科において、この3年は肯定的な回答の割合が連続的に増加している（R4との比較で3.1ポイント増）が、普通学科、専門学科と比較するとその割合は低い。
- 定時制においては、この2年は増加している（R5との比較で7.3ポイント増）。

1 日頃の教育活動における意識

(3) 生徒が鳥取県や今住んでいる地域について理解したり、考えたりするよう工夫している

課程・学科種別 (%)		4 当てはまる	3	2	1 当てはまらない	有効 回答数	平均値
R 7 年 度	全日制	24.8	56.4	17.7	1.1	814	3.05
	(普通学科)	24.1	56.1	18.5	1.3	399	3.03
	(専門学科)	25.5	55.8	17.8	0.9	325	3.06
	(総合学科)	25.6	60.0	13.3	1.1	90	3.10
	定時制	27.5	53.7	17.4	1.4	69	3.07

< 肯定的回答 (4・3) 割合 (%) >



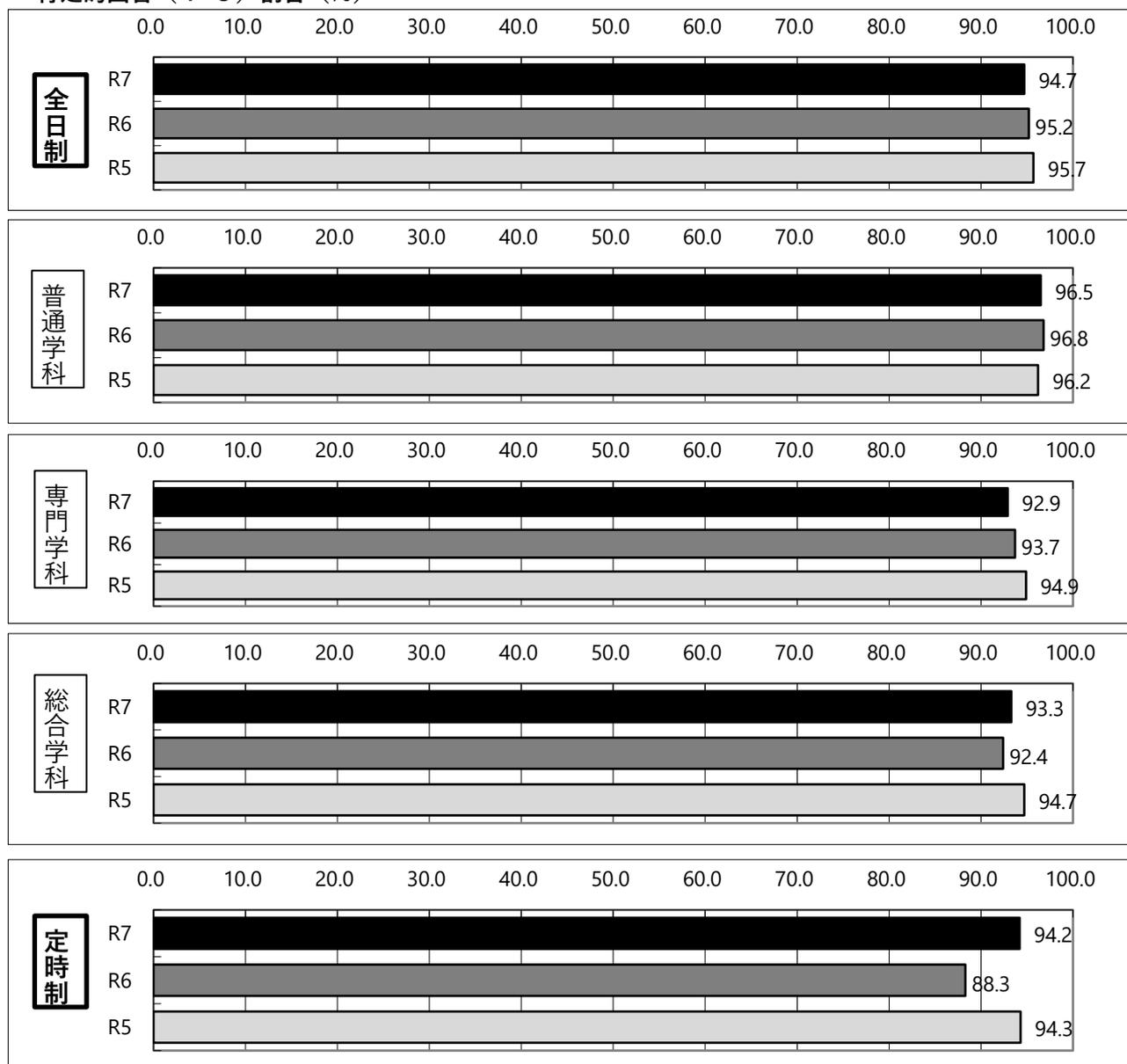
- 普通学科において、この3年、肯定的な回答の割合は80～82%の値で推移している。
- 専門学科において、この3年、肯定的な回答の割合は80～81%の値で推移している。
- 総合学科において、R7は肯定的な回答の割合は増加し、すべての課程、学科の中で最も高い値となっている。
- 定時制においては、この3年で、肯定的な回答の割合は81～83%の値で推移している。

1 日頃の教育活動における意識

(4) 生徒の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりする工夫をしている

課程・学科種別 (%)		4 当てはまる	3	2	1 当てはまらない	有効 回答数	平均値
R 7 年 度	全日制	36.4	58.3	5.2	0.1	814	3.31
	(普通学科)	37.3	59.2	3.5	0.0	399	3.34
	(専門学科)	36.9	56.0	7.1	0.0	325	3.30
	(総合学科)	30.0	63.3	5.6	1.1	90	3.22
	定時制	26.1	68.1	5.8	0.0	69	3.20

< 肯定的回答 (4・3) 割合 (%) >



- 普通学科において、この3年、肯定的な回答の割合は96～97%の値で推移している。
- 専門学科と総合学科において、この2年、肯定的な回答の割合はほぼ変化していない。
- 定時制においては、R7は肯定的な回答の割合が増加し、専門学科、総合学科を上回った。

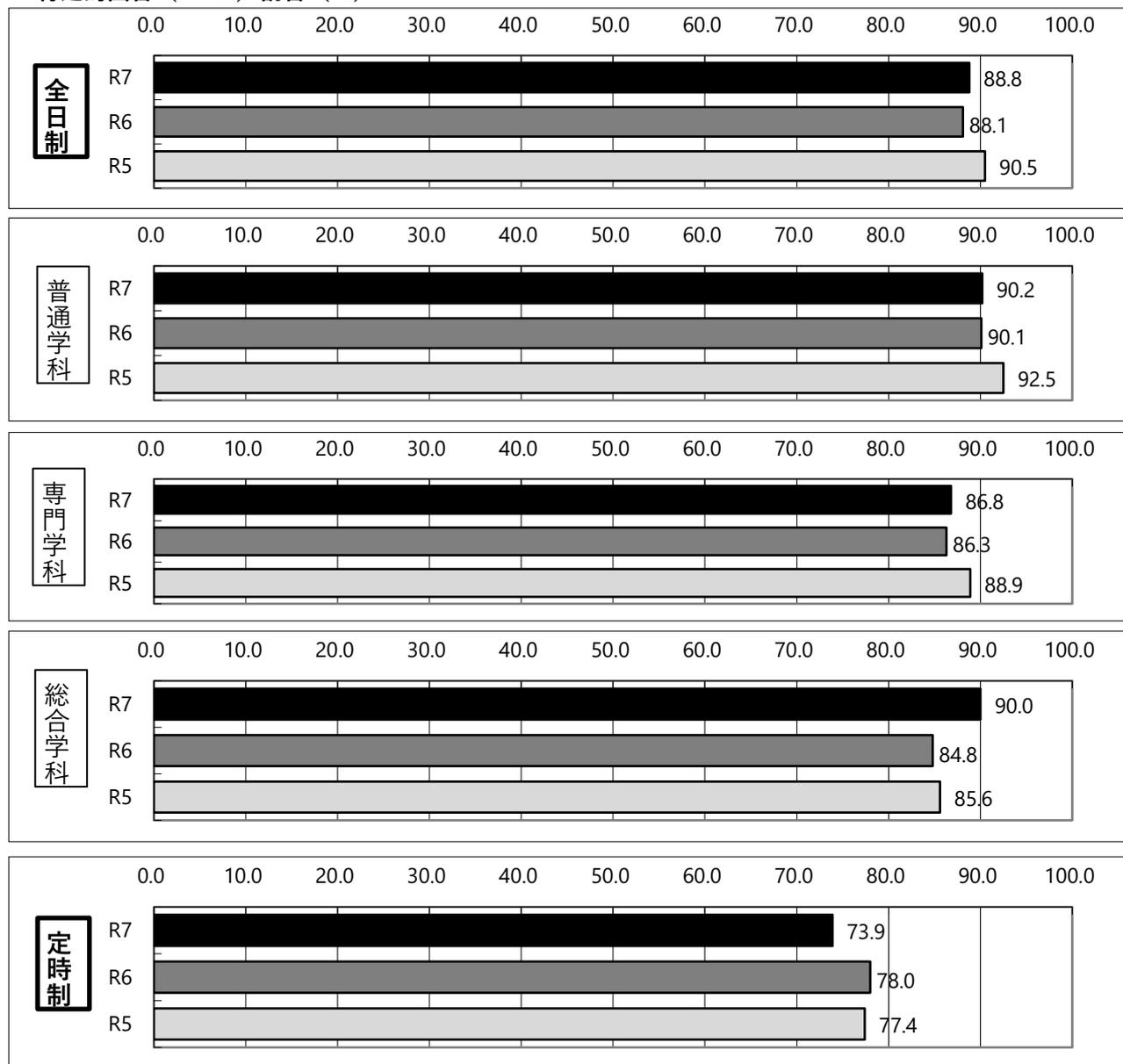
1 日頃の教育活動における意識

(5) 生徒が対話をしたり発表をしたりできるよう、授業を工夫している

課程・学科種別 (%)		4 当てはまる	3	2	1 当てはまらない
R 7 年 度	全日制	35.7	53.1	10.2	1.0
	(普通学科)	41.6	48.6	8.8	1.0
	(専門学科)	29.8	57.0	12.3	0.9
	(総合学科)	31.1	58.9	8.9	1.1
	定時制	18.8	55.1	20.3	5.8

有効 回答数	平均値
814	3.24
399	3.31
325	3.16
90	3.20
69	2.87

<肯定的回答(4・3)割合(%)>



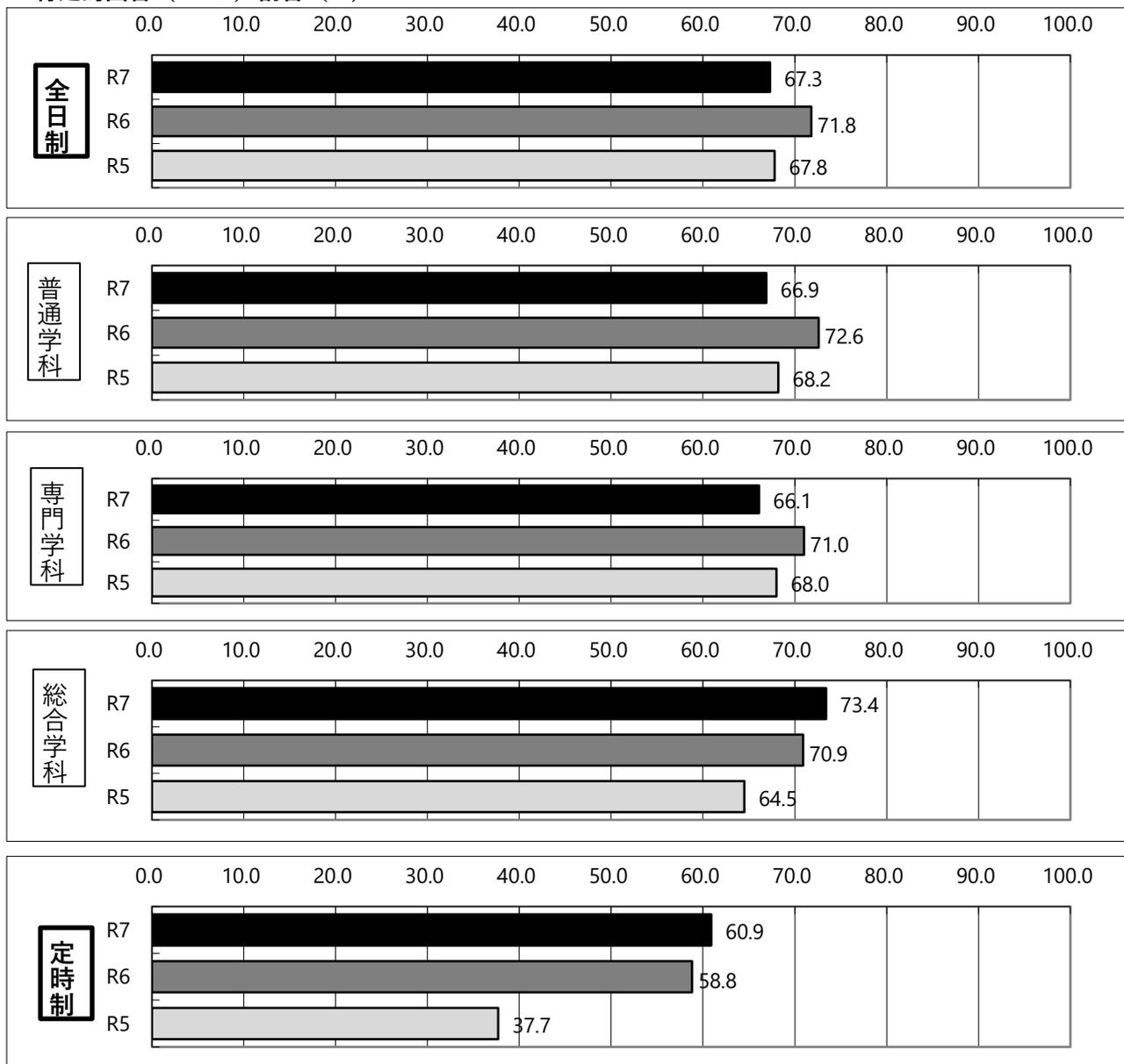
- 普通学科において、この3年、肯定的な回答の割合は90～93%の値で推移している。
- 専門学科において、この3年、肯定的な回答の割合は86～89%の値で推移している。
- 総合学科において、R7は肯定的な回答の割合は増加している。
- 定時制においては、R7は肯定的な回答の割合は減少している。

1 日頃の教育活動における意識

(6) ICT機器を積極的に活用して1人1台端末に対応した授業を進めている

課程・学科種別 (%)		4 当てはまる	3	2	1 当てはまらない	有効 回答数	平均値
R7 年度	全日制	20.4	46.9	28.4	4.3	814	2.83
	(普通学科)	21.8	45.1	30.3	2.8	399	2.86
	(専門学科)	18.8	47.3	27.1	6.8	325	2.78
	(総合学科)	20.0	53.4	24.4	2.2	90	2.91
	定時制	17.4	43.5	29.0	10.1	69	2.68

< 肯定的回答 (4・3) 割合 (%) >



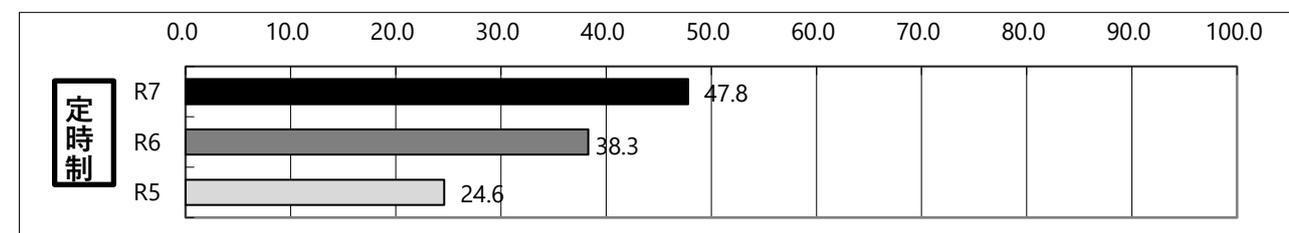
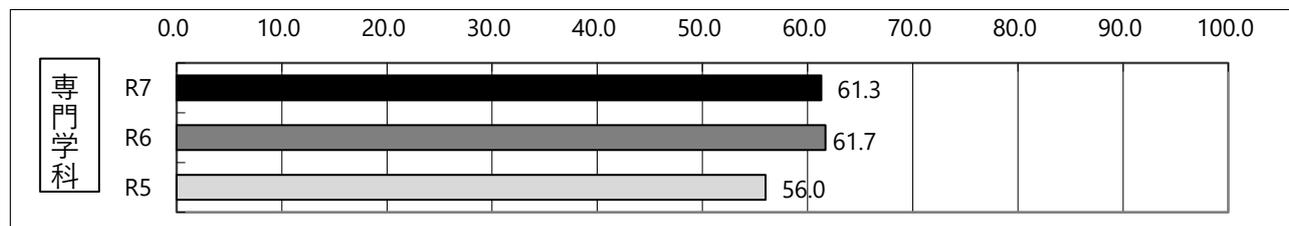
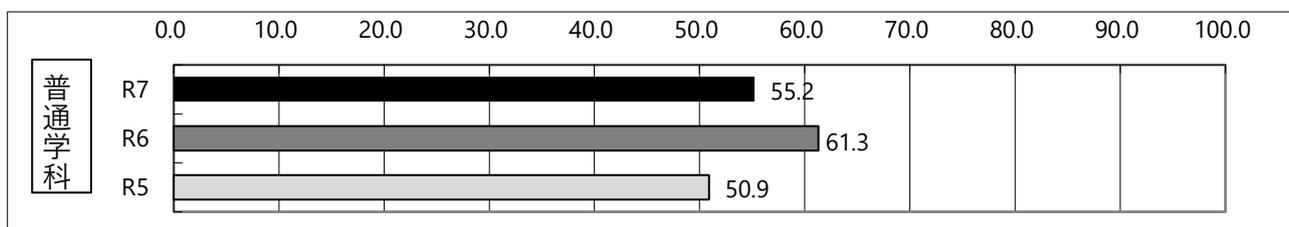
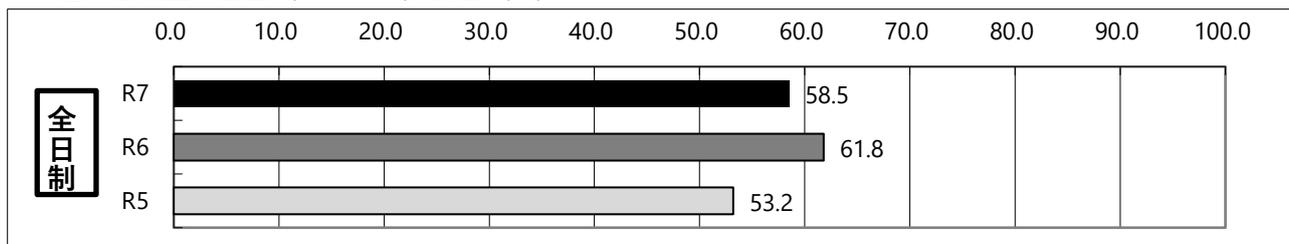
- 普通学科と専門学科において、R7の肯定的な回答の割合は、減少している。
- 総合学科において、この2年、肯定的な回答の割合は増加している（R5との比較で8.9ポイント増）。授業におけるICTの活用が進んでいると考えられる。
- 定時制において、この2年は、肯定的な回答の割合が増加している（R5との比較で23.2ポイント増）。
- すべての課程、学科において、1人1台端末環境を生かした「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実をはかるために、日常的なICT機器の活用促進をより一層進める必要がある。

2 生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させているか

(1) 生徒が自分で調べる場面（ウェブブラウザによるインターネット検索等）

課程・学科種別 (%)		5 ほぼ毎日	4 週3回	3 週1回以上	2 月1回以上	1 月1回未満	有効 回答数	平均値
R 7 年 度	全日制	9.1	12.2	37.2	25.9	15.6	814	2.28
	(普通学科)	8.8	10.0	36.4	29.8	15.0	399	2.24
	(専門学科)	8.6	13.8	38.9	21.8	16.9	325	2.32
	(総合学科)	12.2	15.6	35.6	23.3	13.3	90	2.29
	定時制	5.8	13.0	29.0	30.5	21.7	69	2.22

<週1回以上 回答（5・4・3）割合（%）>



※本質問項目はR5から設定

○全日制のすべての学科において、1人1台端末の配備が完了したR6に、「週1回以上（5、4または3）」の回答の割合が増加したが、R7は、普通学科では減少し、専門学科と総合学科では大きな変化はなかった。

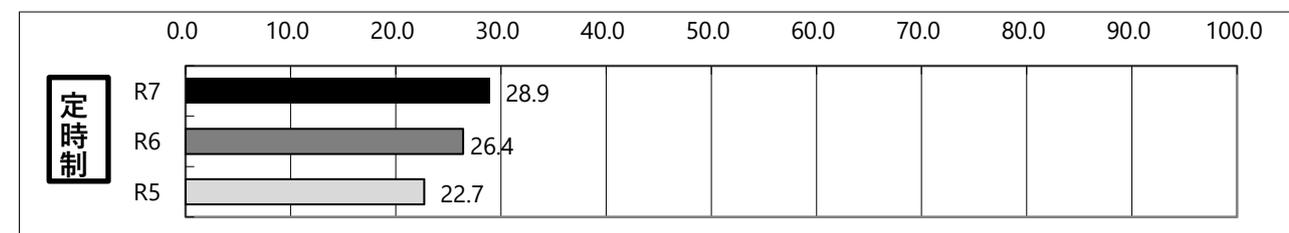
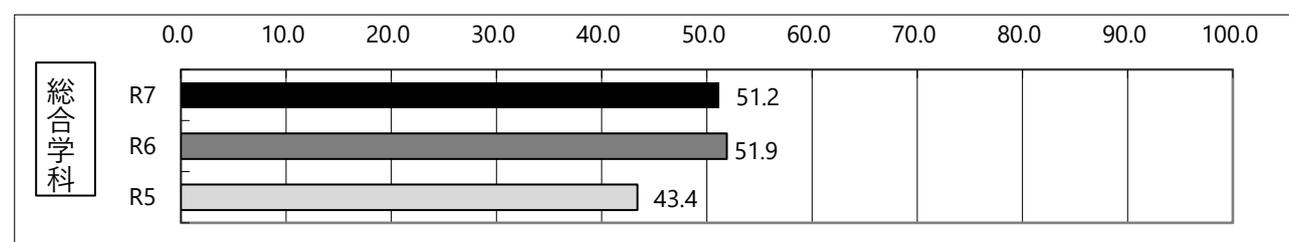
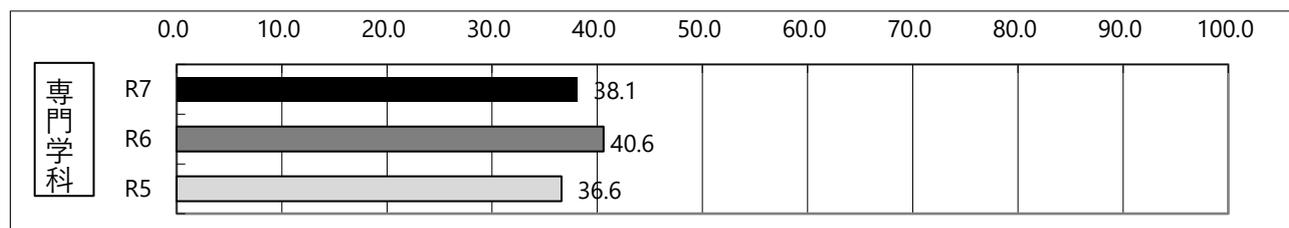
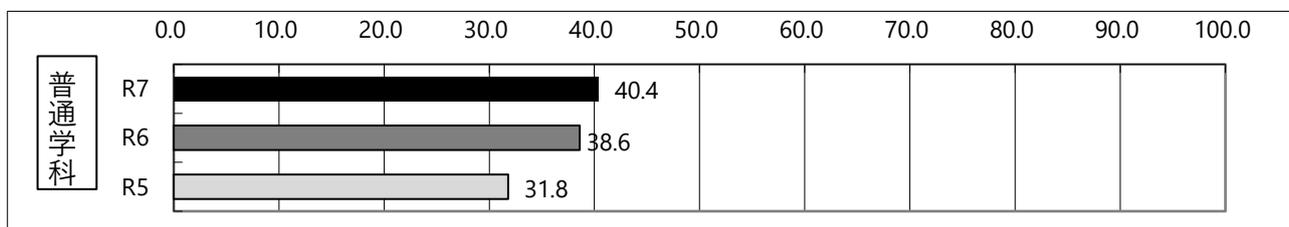
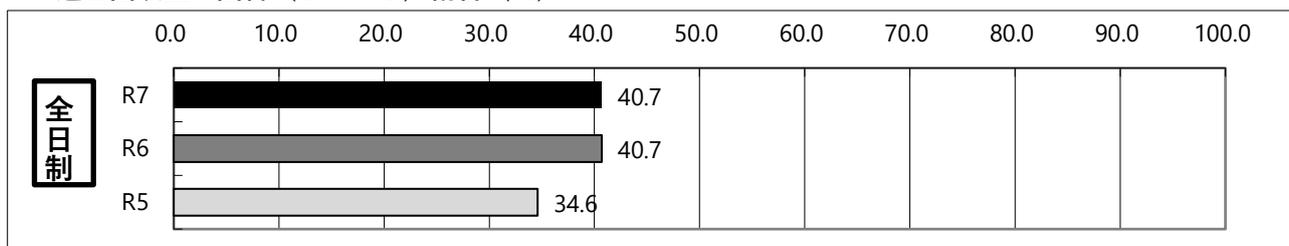
○定時制においては、この2年、「週1回以上（5、4または3）」の回答の割合が増加している。

2 生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させているか

(2) 生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面

課程・学科種別 (%)		5 ほぼ毎日	4 週3回	3 週1回以上	2 月1回以上	1 月1回未満	有効 回答数	平均値
R 7 年 度	全日制	4.5	9.5	26.7	32.0	27.3	814	2.32
	(普通学科)	5.0	8.8	26.6	35.0	24.6	399	2.35
	(専門学科)	4.0	9.5	24.6	30.5	31.4	325	2.24
	(総合学科)	4.4	12.2	34.6	24.4	24.4	90	2.48
	定時制	0.0	10.1	18.8	32.0	39.1	69	2.00

<週1回以上 回答(5・4・3)割合(%)>



※本質問項目はR5から設定

○全日制のすべての学科において、1人1台端末の配備が完了したR6に、「週1回以上(5・4または3)」の回答の割合が増加したが、R7は、すべての学科では大きな変化はないか、やや減少している。授業においてICT機器を有効に活用し、探究的な学び等で情報をまとめ、表現する場面を大切に授業づくりをより一層推進していく必要がある。

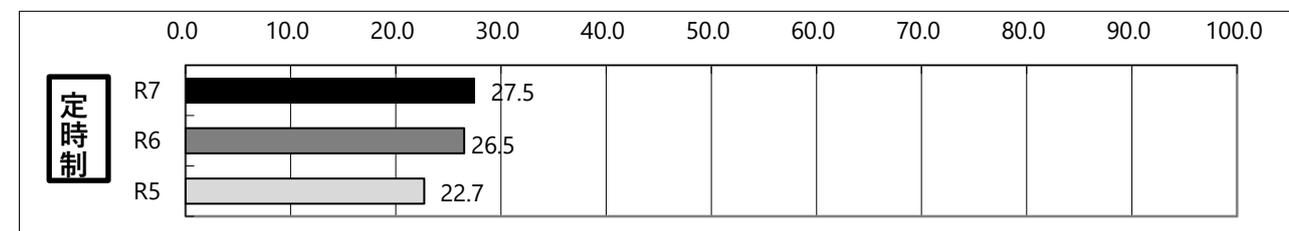
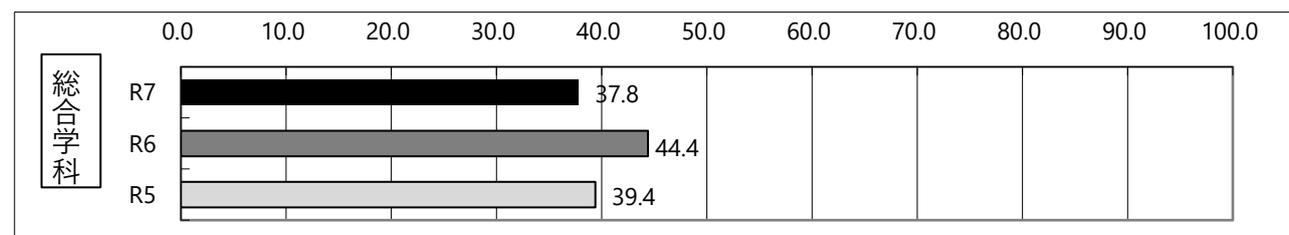
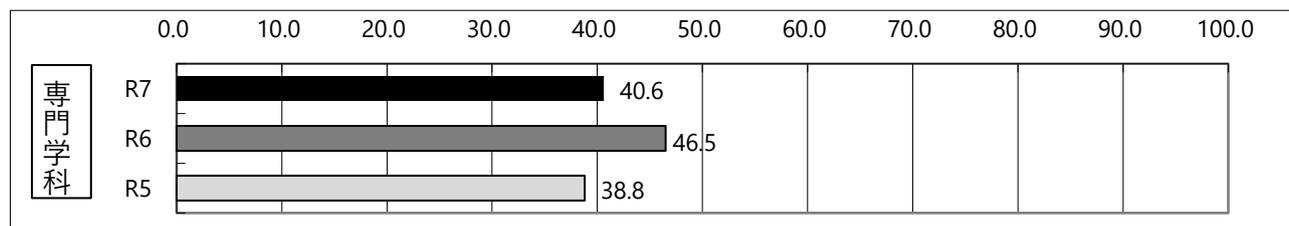
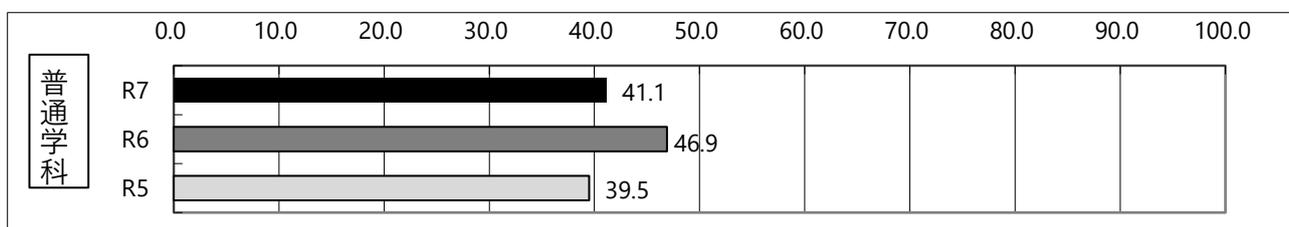
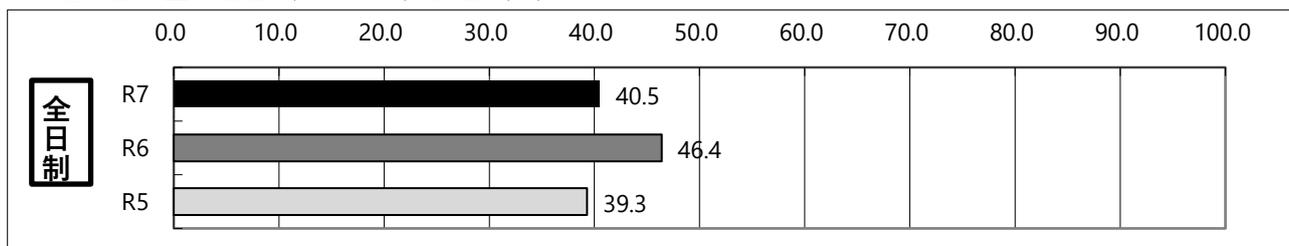
○定時制においては、この2年、「週1回以上(5・4または3)」の回答の割合が増加している。

2 生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させているか

(3) 生徒同士がやりとりする場面

課程・学科種別 (%)		5 ほぼ毎日	4 週3回	3 週1回以上	2 月1回以上	1 月1回未満	有効 回答数	平均値
R 7 年 度	全日制	9.3	9.8	21.4	27.1	32.4	814	2.37
	(普通学科)	11.3	9.0	20.8	29.3	29.6	399	2.43
	(専門学科)	7.7	11.4	21.5	24.3	35.1	325	2.32
	(総合学科)	6.7	7.8	23.3	27.8	34.4	90	2.25
	定時制	2.9	10.1	14.5	23.2	49.3	69	1.94

<週1回以上 回答(5・4・3)割合(%)>



※本質問項目はR5から設定

○全日制のすべての学科において、1人1台端末の配備が完了したR6に、「週1回以上(5、4または3)」の回答の割合が増加したが、R7は、すべての学科で減少している。

○全日制のすべての学科において、R7の質問項目2(1)の「生徒が自分で調べる場面」の活用と比較して、約11~26ポイント低い。「協働的な学び」を深めるための有効なツールとして、ICT機器の活用促進をより一層進める必要がある。

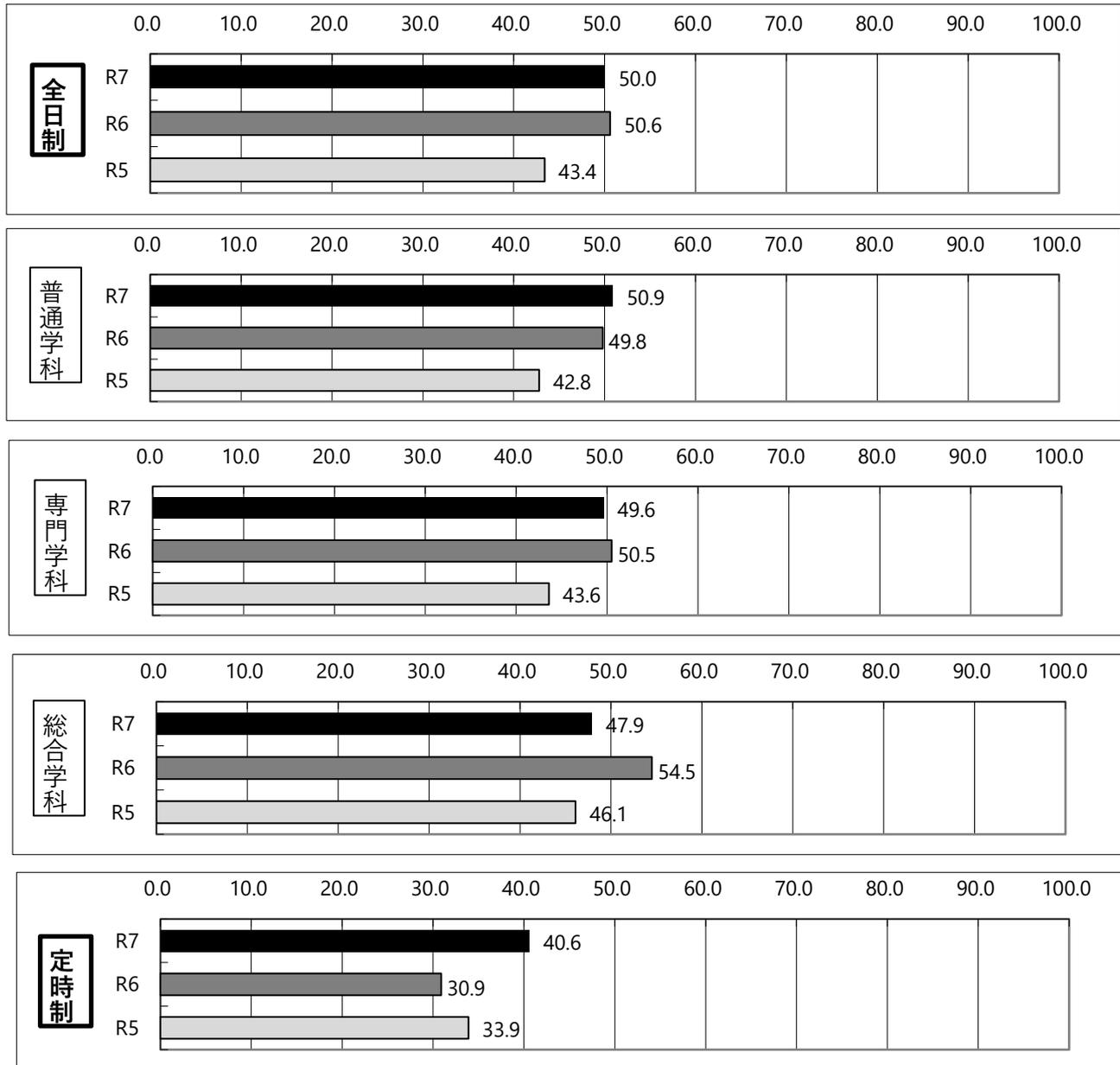
○定時制においては、この2年、「週1回以上(5、4または3)」の回答の割合が増加している。

2 生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させているか

(4) 生徒が自分の特性や理解度・進捗に合わせて課題に取り組む場面

課程・学科種別 (%)		5 ほぼ毎日	4 週3回	3 週1回以上	2 月1回以上	1 月1回未満	有効 回答数	平均値
R 7 年 度	全日制	6.4	14.4	29.2	27.5	22.5	814	2.55
	(普通学科)	7.0	13.5	30.4	29.3	19.8	399	2.59
	(専門学科)	5.8	14.8	29.0	24.9	25.5	325	2.51
	(総合学科)	5.6	16.7	25.6	28.8	23.3	90	2.53
	定時制	0.0	14.5	26.1	23.2	36.2	69	2.19

<週1回以上 回答(5・4・3)割合(%)>



※本質問項目はR5から設定

○全日制のすべての学科において、1人1台端末の配備が完了したR6に、「週1回以上(5、4または3)」の回答の割合が増加したが、R7は、普通学科と専門学科は大きな変化はなく、総合学科は減少している。

○定時制においては、R7は、「週1回以上(5、4または3)」の回答の割合が増加した。

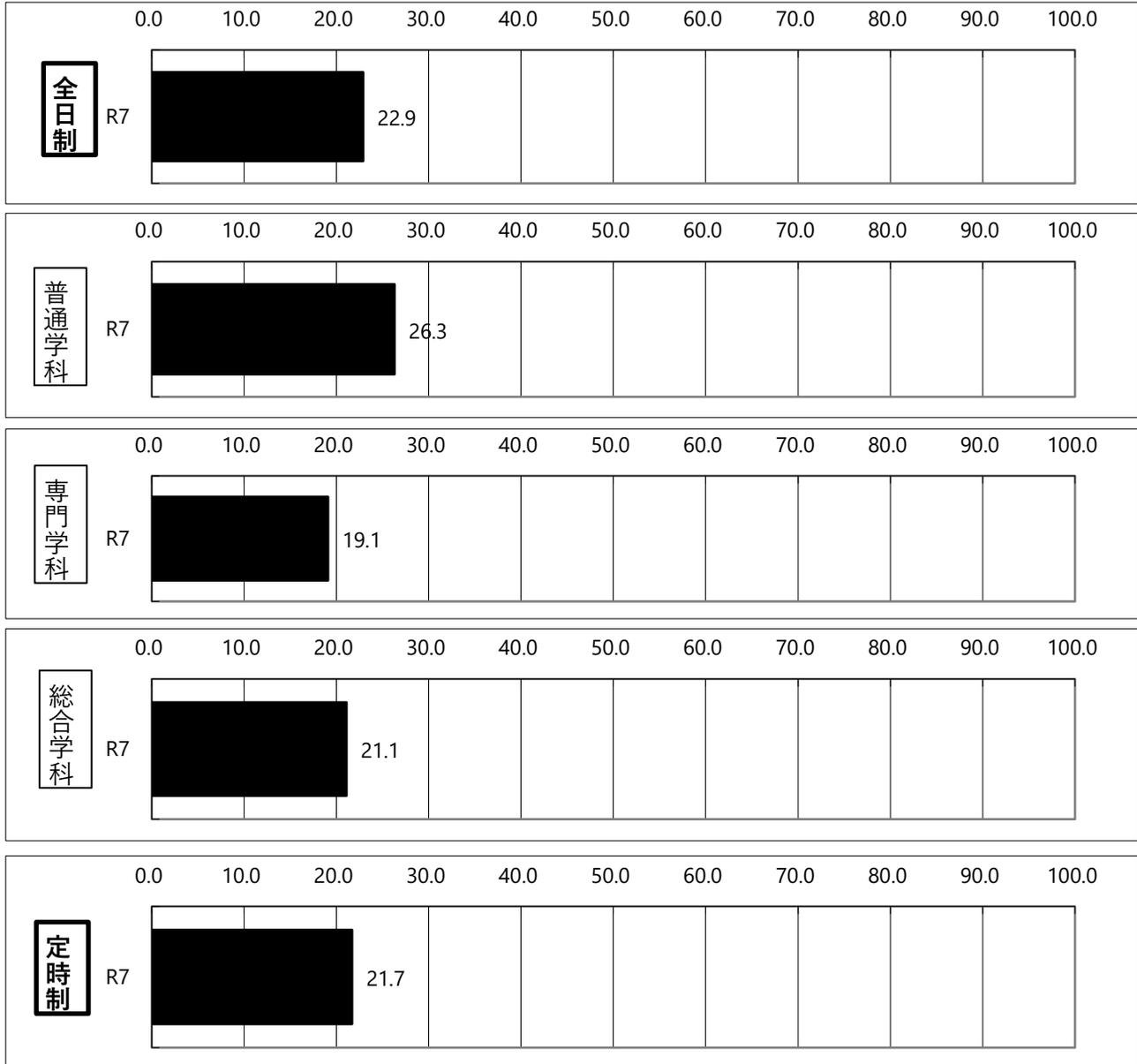
○すべての課程、学科において、生徒一人一人の特性に応じた「個別最適な学び」を実現するために、効果的なICT機器の活用方法の工夫、展開を進める必要がある。

3 生成AIを授業づくりや授業でどのくらい活用しているか

※令和7年度からの質問項目

課程・学科種別 (%)		4 ほぼ毎日	3 週1回以上	2 月1回以上	1 使ったことがない	有効 回答数	平均値
R 7 年 度	全日制	5.9	17.0	27.6	49.5	814	1.79
	(普通学科)	7.0	19.3	32.8	40.9	399	1.92
	(専門学科)	4.9	14.2	22.8	58.1	325	1.66
	(総合学科)	4.4	16.7	22.2	56.7	90	1.69
	定時制	2.9	18.8	23.2	55.1	69	1.70

<週1回以上(4・3)割合(%)>



○全日制において、生徒アンケートの質問項目6(2)「授業以外の学習活動で生成AIを活用している」の回答では、週1回以上活用している生徒が48.4%あり、教職員側の活用頻度に比べるとかなり高い。生徒の活用実態も考慮しながら、学びを深める有効なツールとして生成AIの活用を検討していく必要がある。